

特集《新議場》

— 新しい議場をご案内します —



柏崎市議会だより

ギカイの

とびら



No.183 令和3(2021)年 2月5日

今回の表紙

傍聴席から見た議場

正面に議長席、右側に議員席、左側に市長や部長の席が一望できます。

もくじ

■ 特集《新議場》	P 2・3
■ 議員定数を22人に削減	P 4
■ こんなことが決まりました	P 5
■ 常任委員会報告・賛否一覧	P 6・7
■ 一般質問	P 8～11
■ 2月定例会議日程ほか	P 12



特集

《新議場》

《新しい議場をご案内します》

温かみのある議場で

開かれた議会を目指します

令和3（2021）年1月に、市議会も新庁舎に移転しました。

親しみやすい議場です

● 本館の西側にある議場は、市民ロビーに面しています。

● 表紙写真にあるように、「海の大花火大会」をモチーフにしたデザイン、県産杉材をふんだんに使った内装、そして柏崎産の杉材で作られた議席など、明るく温かみのある議場となっています。

● 議場の左右の壁には、大型ディスプレイを設置しています。傍聴席のディスプレイにも、同じ映像が流れます。

● 議員や市長などは、1階の議場入り口を使います。傍聴席の入り口は、市政情報コーナーの先にあります。



● 議場入り口（本館1階西側）

西玄関



● 市政情報コーナー



● 傍聴席（2・3列目の37席）



● 傍聴席入り口

新庁舎フロア案内は、
広報かしわざき1月号をご覧ください。



●議会図書室 (本館2階西側)



●委員会室 (本館2階東側)



●議会事務局
(本館2階西側)

●議員や議会にご用のある方は、議会事務局にお越しくください。

議会に関することは議会事務局へ

- 議会図書室には、議会活動に必要な資料を備えています。
- 原子力アーカイブコーナーで、原子力発電に関する資料を閲覧できます。

市民も利用できる議会図書室

- 委員会室で行われる常任委員会も、傍聴できます。

どなたでも傍聴できます

- 議場の傍聴席は、バリアフリーに対応しています。
- 入り口までのスロープと、車いす用スペースがあります。
- 聞こえにくい方のために、ユニバーサル補聴システム(磁気ループ)を備えています。
- 委員会室で行われる常任委員会も、傍聴できます。

52年の歴史を紡いだ旧議場に別れを告げ、市議会も新庁舎で活動を始めました。一日も早くコロナ禍を脱して、安心して皆さまを新しい議場にお迎えできるよう、また、より市民に開かれた議会を目指して、議員一同励んでまいります。

議長 真貝維義



●正副議長室

議員定数を26人から22人に削減

議員定数改正条例(案)を賛成多数で可決しました



12月定例会議の最終日に、議員定数を現在の26人から22人に削減する議案が、議員発案で提出されました。また、この原案に対して、削減後の定数を23人とする修正案が提出されました。

2人の議員が修正案に対して質疑を行い、6人の議員が会派を代表して討論を行いました。

採決の結果、10対15の賛成少数で修正案を否決し、16対9の賛成多数で原案を可決しました。これにより、次に行われる市議会議員選挙から議員定数が22人となります。

原案賛成の討論 (定数22人)

…柏崎の風、民友、柏盛クラブ、公明党

- 総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会各7人に議長を加えた22人は、妥当かつ市民の理解を得られる提案である。
- 将来にわたる人口減少と厳しい財政状況を見据え、新年度予算編成を前に削減の姿勢を市民に示すことは意義がある。
- 議員の負担は大きくなるが、市民の負託に応える覚悟を持って、痛みを伴う改革を行うことが議員の使命である。

- 意見交換会やICTの活用などにより、広報広聴機能の維持は可能である。

修正案賛成の討論 (定数23人)

…社会クラブ、日本共産党柏崎市議員団

- 削減には同意だが、市民の考えを市政に反映するために、23人の方が適正である。
- 原発が立地する柏崎市は、他自治体に比べて広く市民の声を聞く必要がある。
- 議会の役割と責任が増大している中で、市民の負託に応え、市民と共に豊かなまちづくりを実現するため。

議員定数削減に関するこれまでの経緯

平成23(2011)年の改選から、議員定数は30人から現在の26人になりました。平成30(2018)年12月定例会議で、23人に削減する案を賛成少数で否決しましたが、令和元(2019)年5月の改選後も議論を継続することとしました。

その結果、ギカイのとびらの前号(11月20日発行)でお伝えしたとおり、議会運営委員会において議員定数の削減については合意したものの、削減数は意見が分かれました。



採決の様子

原案に賛成した議員

三宮直人 重野正毅 田邊優香 白川正志 布施学 近藤由香里 山本博文 阿部基 相澤宗一 佐藤和典 若井恵子 春川敏浩 柄沢均 上森茜 星野正仁 齋木裕司

原案に反対した議員

樋口良子 持田繁義 星野幸彦 秋間一彦 笠原晴彦 村田幸多朗 佐藤正典 飯塚寿之 荒城彦一

※ 真貝維義議長は採決に加わりません。修正案の賛否状況は7ページをご覧ください。



こんなことが 決まりました

12月定例会議 議案審議

Pick up

1

市街地循環バスかざぐるまの運行経路を延長することになりました

◎路線バス等確保事業（市街地循環バス運行契約補償金） 48万3000円

令和3（2021）年1月4日から、市街地循環バス「かざぐるま」の運行経路を延長することになりました。新たに「翔洋校前」、「桜木町」、「春日小路（国道352号沿い）」と「柏崎市役所（新庁舎）」に停車します。



Pick up

2

小中学校にアクリルパーテーションを設置します

◎学校施設管理事業 882万3000円

新型コロナウイルス感染症対策として、市内すべての小・中学校（31校）にアクリルパーテーションを設置します。設置場所は、職員室と普通教室の教職員の机の上や、特別教室などです。



他に審議された内容はコチラから 



令和2(2020)年12月定例会議
常任委員会での審査について報告します。



 委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます

総務常任委員会

■委員長 相澤宗一 ■副委員長 春川敏浩
■委員 持田繁義・笠原晴彦・布施 学・山本博文・飯塚寿之
若井恵子・上森 茜

7件の議案を審査した中から、令和2(2020)年度一般会計補正予算(第18号)の主な質疑について報告します。

●路線バス運行維持支援金(350万円)

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している路線バス運行事業者に対し、市内営業所に配置する乗合バス1台につき10万円を支援するために必要な経費。



主な質疑

- Q 路線バス運行維持支援金とした理由とその額の根拠について伺いたい。
- A 今までも一定程度の補助をしているが、新型コロナウイルス感染症による収入減に対する支援という形をとった。また他の自治体を参考とし、主な路線の減収状況を踏まえ、乗り合いバス35台に対し、1台につき10万円の支出とした。

文教厚生常任委員会

■委員長 柄沢 均 ■副委員長 重野正毅
■委員 樋口良子・秋間一英・田邊優香・近藤由香里・佐藤正典・星野正仁

14件の議案を審査した中から、令和2(2020)年度一般会計補正予算(第18号)の主な質疑について報告します。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業 (3164万5000円)

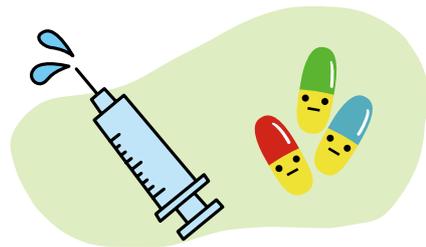
事業の概要

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種のための必要な体制を整備する。

主な質疑

- Q ワクチン接種に向けて進めていること。
- A 現在のところ国からワクチン接種に向けての詳細は示されていない。いつ通知などで示されても迅速に対応できるよう準備を進める。接種の実施主体は市、費用は国が負担。接種は国民の努力義務となり、希望者に実施する。

- Q 接種準備としての費用の詳細は。
- A 啓発チラシやクーポン券の印刷、接種に要する医薬材料やワクチン保管庫などを整える。また、個人宛に接種のお知らせなどを郵送する費用に充てる。
- Q ワクチン接種についての相談窓口は。
- A 統一した窓口を設置して対応する。



産業建設常任委員会

■委員長 三宮直人 ■副委員長 阿部 基
 ■委員 星野幸彦・白川正志・村田幸多朗・荒城彦一・佐藤和典・齋木裕司

11件の議案を審査した中から、令和2（2020）年度一般会計補正予算（第18号）などの主な質疑について報告します。

●鳥獣被害対策事業（354万8000円）

事業の概要

イノシシ被害対策に対する委託料と負担金。

主な質疑

- Q 委託料と負担金の内容は。
 A 委託料は、市街地などのパトロールの経費。負担金は、わなやセンサーカメラなどの追加購入費と、農業生産者が電気柵を設置した費用と国の交付金との差額を負担するもの。
 Q 徹底的に対応するための補正予算か。
 A 喫緊の課題であり、今できる対策を全力で行う。



●下水道条例の一部を改正する条例など

事業の概要

下水道使用料の改定。

主な質疑

- Q 人口減少予測への対策は。
 A 予想以上の人口減少や単身世帯の増加、節水型機器の普及により経営は厳しさを増すが、ガス事業民営化以降、職員の人員削減などの経営改善を行っている。今後も経営効率の向上を図る。

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員賛否一覧（12月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	三宮直人	重野正毅	樋口良子	持田繁義	星野幸彦	秋間一英	田邊優香	白川正志	笠原晴彦	村田幸多朗	布施学	近藤由香里	山本博文	阿部基	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	真貝維義	春川敏浩	柄沢均	上森茜	星野正仁	齋木裕司
12月22日	市立博物館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
12月22日	議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（修正案）	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×
12月22日	議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（原案）	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○は賛成

×は反対

真貝維義議長は採決に加わりません。

市政



Q 櫻井市長2期目 4年間に向けて

A 課題が山積する2期目の柏崎市政に全力で当たらせていただきたい

質問 所信表明、公約に対して今後4年間どのように取り組んでいくのか、第五次総合計画後期基本計画に反映していくのか。

回答 新型コロナウイルス感染症などの時代背景、スピード感を意識し、公約に含まれる内容も先取りしながら計画を策定したい。財政においては市民の生命・生活を守るため必要な資金を投入する覚悟である。

他の質問 新型コロナウイルス感染症対策と令和3年度予算 ほか



動画でチェック



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？



質問項目はこちら

原 発



Q 市長選において 原発再稼働の『民意』 は得られたか

A 私の再稼働についての考え方は多数の市民から賛同してもらったと理解する

質問 市長は前回選挙より多く票を伸ばし再選した。条件付きで再稼働を容認するという考えを、多くの市民が理解したと考えるのが普通。市長が受け止めた民意とは何か。

回答 今でも再稼働について両極端の方々の間にあるのは細い道であるが、私の考え方はおおむね多数の市民の皆様には賛同していただいているものと理解している。

他の質問 教育環境の向上は人づくりから



動画でチェック

教育



Q 人口減少と教育 政策

A デジタルとアナログのバランスをとりながら教育環境の充実にさらに努める

質問 教育によって少しでも人口減少幅を緩やかにする方策と、今の時点で取り組みを始める必要がある教育的な方策を伺う。

回答 教育ICT環境の充実によるデジタル教育の推進だけでなく、船に乗って海側から柏崎のまちを見せたり、柏崎の水源としての谷根川の源流を見せたりする体験活動を通して地域への愛着感を醸成する。

他の質問 新型コロナウイルス感染症対策



動画でチェック

原発



近藤 由香里

Q 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定調査への見解は

A 調査開始を歓迎し、引き続き国の責任下での核燃料サイクル推進を求めたい

質問 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定についての文献調査を寿都町・神恵内村が受け入れたが、両首長の勇気ある決断をどのように受け止めるか。

回答 両首長の決断と国担当者の長年にわたる理解活動に敬意を払い、調査開始を歓迎する。引き続き国の責任の下、核燃料サイクル推進を図っていただきたい。

他の質問 市町村合併の総括とこれからの市政運営 ほか



動画でチェック

介護



春川 敏浩

Q 豊かな高齢化社会の実現、施設待機者の半減施策とは

A 専門学校へも協力を求めながら、介護人材確保に資する事業を展開していく

質問 介護施設の入所希望者は待機状態にある。要介護度4・5と認定された待機者を解消するための施策について伺う。

回答 介護職員約20人の不足により受け入れできず、現在50人分のベットが空いている。新年度は県内の医療・福祉系専門学校にも協力を求めながら、人材確保に資する取り組みを応援する事業を新たに展開していく。

他の質問 人口の流失、減少対策



動画でチェック

介護



樋口 良子

Q 特別養護老人ホームの待機者半減には施設増設が必要

A 増設は難しい。人材確保を進め、まずは空きベッド50床の稼働を目指す

質問 市長は待機者の半減を公約し、介護職20人を確保して未稼働ベッド50床を稼働するとしているが、これだけでは不足だ。小規模なサテライト施設という手法も含め、特別養護老人ホームを増設すべきではないか。

回答 介護職員の確保は非常に難しいが、新たな事業展開で人材確保を進め、まずは空きベッドの解消から始めていく。

他の質問 新型コロナウイルス感染症対策、医療機関の財政的支援 ほか



動画でチェック

教育



阿部 基

Q 統廃合が難しいのであれば、学区の見直しが必要

A 学校の適正配置は教育委員会が方向性を示し、保護者や地元と合意形成を図る

質問 児童生徒が少ない学校では行事など、教職員のみならず、児童生徒の負担も多いが、適正な教育環境か。統廃合が難しいのであれば、学区の見直しが必要ではないか。

回答 現在、統廃合、学区の見直し計画はない。しかし、2026年度の小学1年生の児童数は500人を割る。学校の適正配置は、保護者や地域と合意形成を図りながら進める。

他の質問 農業政策、補助金交付後の検証方法



動画でチェック

エネルギー



相澤宗一

Q 温室効果ガス
2050年実質ゼロ宣
言に対する所感は

A 国と柏崎が求めるカーボン
ニュートラルへの方向性が
合致してきたと実感する

質問 地域エネルギー会社の設立に向けて準備が進む中、新しい内閣の所信表明での温室効果ガス2050年実質ゼロ宣言に対し、市長はどのように受け止められたのか。

回答 国が求める新たな方向が、地域エネルギービジョンと合致して進み始めている。各企業・団体の協力を受け、地域エネルギー会社の設立・スタートを目指したい。

他の質問 難局に立ち向かえる市役所組織に



動画でチェック

公共交通



山本博文

Q 柏崎市公共交通
の現状と課題や今後
の取り組み

A 利用者減少、運転手不足、
財政負担増が課題、公共交
通体系の見直しが必要

質問 路線バスの確保や利便性の向上を踏まえた現状と課題、自動運転によるバスやICTの活用など、今後の取り組みを伺う。

回答 利用者減少と運転手不足は深刻で、路線バス維持の財政負担増加が予想される。最新技術の活用検討を含め、来年度にかけて新たな公共交通計画を策定し、市民ニーズに即した地域の交通手段を確保したい。

他の質問 海岸漂着ごみの対応、鳥獣被害



動画でチェック

イベント



佐藤正典

Q 新型感染症渦に
おける今後の市主催
イベントなどの対応

A 開催規模を考慮しながら感
染症対策を徹底した上で開
催する方向で検討

質問 市民の元気を取り戻し、地域経済回復の足掛かりとするために、新しい生活様式と感染対策を徹底した中での、イベントや事業などの開催方法を検討してはどうか。

回答 各種スポーツ大会・マラソン大会などは、開催規模を考慮して計画を進める。えんま市・ぎおん柏崎まつりは、感染症対策を徹底して開催する方向で検討している。

他の質問 ガス事業民営化の検証と水道事業の重要性



動画でチェック

エネルギー



秋間一英

Q 再エネ事業はス
モールスタートで間
に合うか

A 実現可能と考える。再生可
能エネルギー事業の成立に
は環境整備が重要

質問 再生可能エネルギー事業には多くの手順が必要。地域エネルギービジョン策定時1.2%に対し、2030年の市内エネルギー自給率10%の目標達成は厳しいのではないか。

回答 太陽光発電は比較的短期間で設置でき、候補地も考えている。目標達成スケジュールは実現可能と考える。多くの事業者が参入できる、事業環境の整備が重要である。

他の質問



動画でチェック

コミュニティー



持田繁義

Q 西山地域のコミセン。安易に統合することはできない

A 少子高齢化のなか地域活動の維持が困難に。町内会・コミセンの統合が必要

質問 コミュニティーは「市民参加の仕組みづくり」「地域づくりの拠点」「市民と行政の共同を実現する場」。西山地域は誠実に実践してきたが、統合は必要か。

回答 地域活動の維持や防犯・防災の担い手確保などのため、統合が必要。各地域に合わせた工夫により、コミュニティー活動を推進していただきたいと考えている。

他の質問 コロナ禍、市民の暮らし・営業を守る責務と実行 ほか



動画でチェック

子育て



布施 学

Q 冬期間の子ども遊び場や遊具施設などの充実を

A 新年度に向けて、キッズマジックの無料化と元気館の整備を検討していく

質問 他自治体では子どもの遊び場など幅広い子育て施策に乗り出し始めている。冬期間の子ども遊び場など、充実した子育て施策が必要と考えるが、市の見解を伺う。

回答 まずは既存施設を利用しやすくし、幅広い子育て環境支援策を充実させていく。キッズマジック利用料の無料化と、元気館ジャングルキッズの再整備を考えている。

他の質問 港湾しゅんせつ砂の有効活用 ほか



動画でチェック

都市計画



荒城彦一

Q 市役所庁舎跡地の有効活用で山積する諸課題の解決を

A 壮大な提案ではあるが、実現は困難である

質問 柏崎市に山積する諸課題を解決するために、庁舎跡地に40階建てタワーマンション型市営共同住宅を建設して、行政サービスの効率化と経費の削減を図ってはどうか。

回答 試算するとタワーマンションを建設するには、約170億円必要である。補助金の活用は難しく、民間参入は期待できない。費用対効果を考えると実現は困難である。

他の質問



動画でチェック

原発



星野幸彦

Q 改めて再稼働に対する市民の声を聞くべきではないか

A 市議会議員の意見を市民の意見の集約として伺う

質問 原発の再稼働の判断は、市長選挙の結果とは関係なく、改めて再稼働に対する市民の声を聞く仕組み・手順を丁寧に行っていくべきと考えるが、市長の考えは。

回答 市民の負託を受けた市議会議員の意見を市民の意見の集約として伺い、県の判断なども見ながら、最終的な判断を行う。

他の質問



動画でチェック

2月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
2/14	15	16	17	18	本会議 議案説明・質疑・付託	19 20
21	委員会 産業建設・文教厚生	22 (天皇誕生日)	委員会 総務	本会議 委員長報告・採決 施政方針・議案説明	26	27
28	3/1	2	本会議 代表質問、質疑・付託	委員会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	委員協議会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	6
7	8	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 (予備日)	委員会 産業建設	12 13
14	委員会 文教厚生	15	委員会 総務	委員会 産業建設	委員会 文教厚生	委員会 総務
21	(委員会・予備日)	22	本会議 委員長報告・採決	24	25	26 27



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会の傍聴をご遠慮いただく場合があります。
本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。
会議の録画映像と会議録も公開しています。

詳しくはコチラから



■ウェブサイト・無料アプリで「ギカイのとびら」を読むことができます

ウェブサイトや無料アプリで「ギカイのとびら」を配信しています。パソコン・スマートフォン・タブレットで、手軽に閲覧できます。

詳しくはコチラから



■音声訳・点字訳の「ギカイのとびら」を配布しています



ご希望の方は、福祉課障害福祉係にお申し込みください。

TEL 0257-21-2299 FAX 0257-21-1315

✉ fukushi@city.kashiwazaki.lg.jp

編集後記

今年が52年です。52年の長きにわたり本市の様々な重要課題について多くの議論が交わされた議場は12月22日、その使命を果たし、新議場へと移転しました。

今年は丑年です。丑年は先を急がず、目前のことを着実に進めることが将来の成功につながる年といわれています。コロナ禍ですが、市民の皆さまが安心して暮らせる「コロナ後のまちづくり」に、希望を持ち、決意も新たに取り組んでいきます。

議会広報広聴常任委員

若井 恵子

次回発行は5月5日
お楽しみに

柏崎市議会

検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 佐藤正典
副委員長 布施 学
委員

三宮直人 重野正毅 樋口良子
星野幸彦 山本博文 近藤由香里
若井恵子 春川敏浩 柄沢 均